

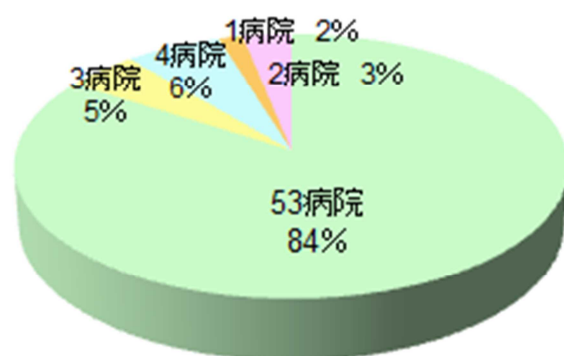
被ばく医療機関の分類



カテゴリー	病院数	%
二次被ばく医療機関／ 災害視点病院	16	26%
二次被ばく医療機関／ 非災害視点病院	2	3%
初期被ばく医療機関／ 災害視点病院	19	30%
初期被ばく医療機関／ 非災害視点病院	26	41%
合 計	63	100%

3

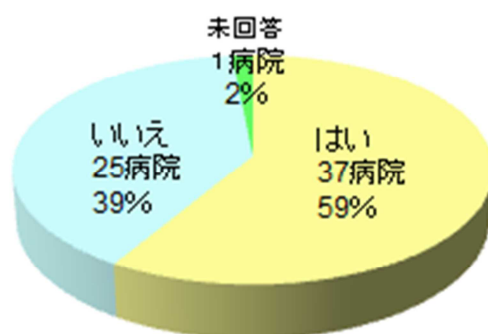
被ばく医療機関であることが、病院の幹部全員の何%
コンセンサスが得られていますか？



幹部のコンセンサス	病院数	%
100%	53	84%
50%以上	3	5%
50%以下	4	6%
0%	1	2%
回答なし	2	3%
合 計	63	100%

4

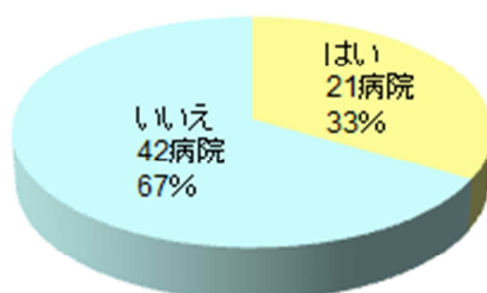
自治体による緊急被ばく医療マニュアル類を整備されていますか？



緊急被ばく医療マニュアル類を整備	地方自治体による	
二次被ばく医療機関/災害拠点病院	はい	14 87.5%
	いいえ	2 12.5%
二次被ばく医療機関/非災害拠点病院	はい	1 50.0%
	いいえ	0 0.0%
初期被ばく医療機関/災害拠点病院	はい	13 88.4%
	いいえ	0 0.0%
初期被ばく医療機関/非災害拠点病院	はい	9 34.6%
	いいえ	17 65.4%
合計	はい	37 59.7%
	いいえ	25 39.7%
	未回答	1 1.6%
	合計	63 100.0%

5

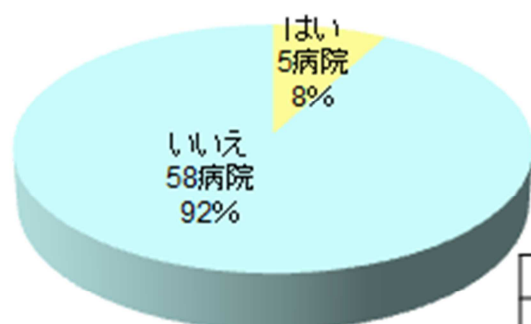
貴機関独自の緊急被ばく医療マニュアル類を作成・整備されていますか？



緊急被ばく医療マニュアル類を整備	医療機関独自の	
二次被ばく医療機関/災害拠点病院	はい	13 81.2%
	いいえ	3 18.8%
二次被ばく医療機関/非災害拠点病院	はい	1 50.0%
	いいえ	1 50.0%
初期被ばく医療機関/災害拠点病院	はい	5 26.3%
	いいえ	14 73.7%
初期被ばく医療機関/非災害拠点病院	はい	2 7.7%
	いいえ	24 92.3%
合計	はい	21 33.3%
	いいえ	42 66.7%
	合計	63 100.0%

6

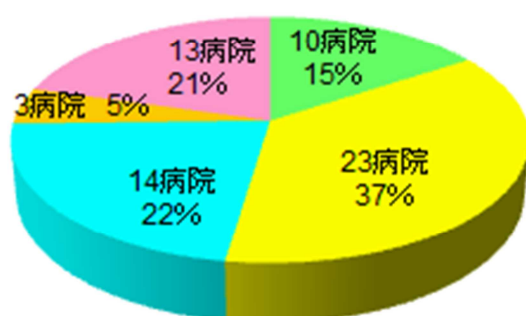
被ばく医療の人材育成の為、院内で独自の研修を行っていますか？



二次被ばく(広島県内/災害独自病院)	はい	0	0.0%
	いいえ	18	81.2%
二次被ばく(広島県内/非災害独自病院)	はい	0	0.0%
	いいえ	2	100.0%
初級被ばく(広島県内/災害独自病院)	はい	1	5.8%
	いいえ	18	94.2%
初級被ばく(広島県内/非災害独自病院)	はい	1	3.8%
	いいえ	25	96.2%
合計	はい	5	7.9%
	いいえ	58	92.1%
合計		63	100.0%

7

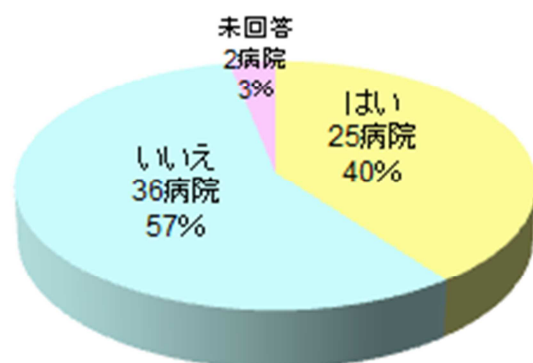
緊急被ばく医療に携わる方は、院外の被ばく医療の研修・訓練に、全体的にどのくらいの頻度で参加していますか？



1年に数回参加している	10	15%
1年に1回は参加している	23	37%
2~3年に1回参加している	14	22%
4~5年に2回参加している	3	5%
未回答	13	21%
合計	63	100%

8

現在、貴病院には被ばく医療に対応するスタッフを決めていますか？



施設区分	回答		
	はい	いいえ	未回答
二次被ばく医療機関／ 災害拠点病院	11	4	1
	68.8%	25.0%	6.3%
	二次被ばく医療機関／ 非災害拠点病院		
二次被ばく医療機関／ 非災害拠点病院	0	2	0
	0.0%	100.0%	0.0%
	初期被ばく医療機関／ 災害拠点病院		
初期被ばく医療機関／ 災害拠点病院	10	9	1
	52.6%	47.4%	3.8%
	初期被ばく医療機関／ 非災害拠点病院		
初期被ばく医療機関／ 非災害拠点病院	4	21	1
	15.4%	80.8%	3.8%
	合計		
合計	25	36	2
	39.7%	57.1%	3.2%
	合計		
	63	100.0%	

9

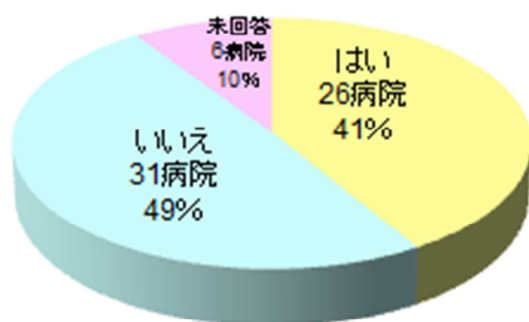
汚染患者受け入れ施設、設備等について

<西日本>

施設区分	回答	【除染施設】		【シャワー】		【簡易更衣設備】		【排水設備】		【排気設備】	
		ある・無し	増設計画	ある・無し	増設計画	ある・無し	増設計画	ある・無し	増設計画	ある・無し	増設計画
二次被ばく医療機関 ／災害拠点病院 (16病院)	ある	11	1	13	1	8	1	8	1	8	1
	なし	5	9	3	9	7	10	8	9	8	9
	未回答	0	6	0	6	1	5	0	6	0	6
二次被ばく医療機関 ／非災害拠点病院 (2病院)	ある	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	なし	2	1	1	0	1	0	2	1	2	1
	未回答	0	1	0	2	0	2	0	1	0	1
初期被ばく医療機関 ／災害拠点病院 (16病院)	ある	9	0	10	2	4	0	3	0	5	0
	なし	10	16	9	14	15	17	16	17	14	17
	未回答	0	3	0	3	0	2	0	2	0	2
初期被ばく医療機関 ／非災害拠点病院 (26病院)	ある	2	1	7	1	1	1	3	1	2	2
	なし	24	23	19	22	25	22	23	23	24	22
	未回答	0	2	0	3	0	3	0	2	0	2
合計	ある	22	2	31	4	14	2	14	2	15	3
	なし	41	49	32	45	48	49	49	50	48	49
	未回答	0	12	0	14	1	12	0	11	0	11

10

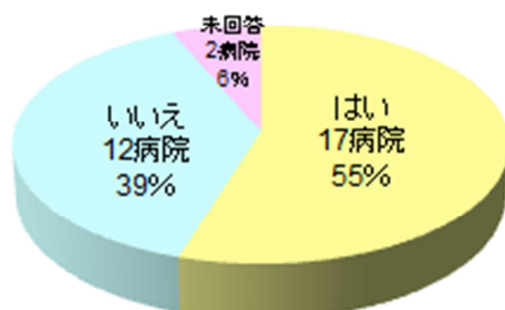
汚染患者は、現場で除染されていない汚染患者でも受け入れますか？



二次被ばく医療機関／ 災害拠点病院	はい	13	81.3%
	いいえ	3	18.7%
二次被ばく医療機関／ 非災害拠点病院	はい	0	0.0%
	いいえ	2	100.0%
	未回答	0	0.0%
初期被ばく医療機関／ 災害拠点病院	はい	8	42.1%
	いいえ	9	47.4%
	未回答	2	10.5%
初期被ばく医療機関／ 非災害拠点病院	はい	5	19.2%
	いいえ	17	85.4%
	未回答	4	15.4%
合 計	はい	26	41.3%
	いいえ	31	49.2%
	未回答	6	9.5%
	合 計	63	100.0%

11

上記質問で「いいえ」の場合、院外の専門家の助言があれば、現場で除染されていない汚染患者でも受け入れますか？



二次被ばく医療機関／ 災害拠点病院	はい	2	66.7%
	いいえ	1	33.3%
二次被ばく医療機関／ 非災害拠点病院	はい	0	0.0%
	いいえ	1	50.0%
	未回答	1	50.0%
初期被ばく医療機関／ 災害拠点病院	はい	5	55.6%
	いいえ	4	44.4%
初期被ばく医療機関／ 非災害拠点病院	はい	10	58.8%
	いいえ	6	35.3%
	未回答	1	5.9%
合 計	はい	17	54.8%
	いいえ	12	38.7%
	未回答	2	6.5%
	合 計	31	100.0%

12

サーベイメータ等の管理(点検実施状況)

<西日本>

(対象: 63病院)

サーベイメータ	GM管式 サーベイ メータ	Nalシンチ レーション	電離箱	個人被ば く線量計	全身計測 装置	甲状腺 計測装置	その他の 台数
保有病院数	51	40	41	54	8	8	27
保有率(%)	81%	63%	65%	86%	13%	13%	43%
点検実施保有病院数	40	26	29	27	7	6	12
点検実施率(%)	78%	65%	71%	50%	88%	75%	44%

13

災害による通信障害に備えて装備している 通信機能

<西日本>

(対象: 63病院)

保有病院数/保有率	衛星電話		無線機		HL FAX又は 電話		その他	
医療機関	44	69.8%	23	36.5%	10	15.9%	9	14.3%

※ その他で回答のあったもの

災害時優先電話、防災行政無線、防災情報システム、Web会議システム、拡声器

14

<まとめ>

- 全体で50%以上の回答が90%だが、二次被ばく医療機関が必ずしも病院幹部全員にコンセンサスは得られていない。
- 院外の専門家の助けがあっても対応できないという二次被ばく医療機関の現状を考えれば、各二次被ばく医療機関に安定して専門家を抱えるのは大変なので自治体で自治体や国がもうける専門家などを充てたり、各自治体の二次被ばく医療機関で人材を育成して、そのような人材を専門家として派遣したりすることも今後必要である。自治体としての専門家育成。
- 汚染患者受入れ入院後の取扱いについて、統一した指針が必要である。
- 院内独自の研修は、ほとんど行っていない。
- 西日本には福島事故以降に京都府（初期14機関）、鳥取県（二次2、初期12機関）など新たに被ばく医療機関を指定しているため、そのような医療機関は、人材育成や機器類の整備がこれからということもあり、数字的に低くなっていると思われる。ただし、院内でのコンセンサスという点では、福島事故を知ったうえでの指定受諾ということもあり、新しい被ばく医療機関は高い傾向にある。指針等も出て、自治体や医療機関が整備している段階なのでそれを評価しつつ、今後も継続した調査で拡充や減退の確認をしていくことが重要である。

2. 3 関係府県等との打ち合わせ

アンケート調査と並行して関係府県と打ち合わせを行い、大規模災害時における被ばく医療体制の現状を確認。また、新たに追加された隣接5県に対してこれまで整備してきた西日本ブロックの緊急被ばく医療体制について説明するとともに今後の体制整備への協力に向けて事情聴取を行った。

打ち合わせは、各府県の被ばく医療担当者との協議のほか、各府県が実施した原子力防災訓練や講習会等に専門家の派遣や視察参加、各府県の緊急被ばく医療ネットワーク検討会等に出席することにより、各府県の被ばく医療の現状を確認した。

- ◇石川県 6月9日(土)、2月27日(水)
- ◇福井県 7月9日(月)、2月25日(月)
- ◇京都府 3月1日(金)
- ◇大阪府 2月20日(水)、2月12日(火)
- ◇岡山県 3月15日(金)
- ◇鳥取県 7月30日(月)、12月20日(木)、3月14日(木)
- ◇島根県 11月15日(木)、12月14日(金)、12月26日(水)、
1月26日(土)、3月13日(水)
- ◇愛媛県 8月8日(水)、10月23日(火)、3月21日(木)
- ◇佐賀県 9月11日(火)、10月28日(日)、2月13日(水)、
3月26日(火)
- ◇長崎県 2月2日(土)、2月21日(木)
- ◇鹿児島県 7月14日(土)、8月11日(土)、2月13日(水)

<新規隣接5県>

- ◇富山県 1月17日(木)
- ◇岐阜県 1月18日(金)
- ◇滋賀県 10月19日(金)、1月23日(水)、3月17日(日)
- ◇山口県 11月30日(金)
- ◇福岡県 12月25日(火)

(※太字は、原子力防災訓練、講習会など)

第3章 地域協議会の開催

西日本ブロックにおける三次被ばく医療機関からの緊急被ばく医療派遣体制の実効性向上に向け、初期、二次被ばく医療機関及び関係府県等の関係者と協議会を開催した。なお、西日本ブロックは地域性を考慮し、近畿・北陸地区（石川、福井、京都、大阪、富山、岐阜、滋賀）、中国・四国地区（岡山、鳥取、島根、愛媛、山口）、九州地区（佐賀、長崎、鹿児島、福岡）の3地区に分けて、各地区で1回開催。

3. 1 地域協議会開催にかかる打ち合わせ

地域協議会の開催に先立ち、関係府県、被ばく医療機関等と事前打ち合わせを実施し、地域協議会においてスムーズな緊急被ばく医療派遣体制に向け協議を行った。

<近畿・北陸地区>

◇石川県	2月27日（水）	14:00～15:30
◇福井県	2月25日（月）	13:30～15:00
◇京都府	3月1日（金）	14:30～15:30
◇大阪府	2月20日（水）	14:30～16:30
◇富山県	1月17日（木）	14:00～15:50
◇岐阜県	1月18日（金）	10:00～12:00
◇滋賀県	1月23日（水）	16:00～17:00

<中国・四国地区>

◇岡山県	3月15日（金）	10:00～12:00
◇鳥取県	3月14日（木）	14:30～15:30
◇島根県	3月13日（水）	14:00～15:30
◇愛媛県	3月21日（木）	14:30～16:00
◇山口県	11月30日（金）	15:00～16:00

<九州地区>

◇佐賀県	2月13日（水）	10:30～12:00
◇長崎県	2月21日（木）	17:10～18:30
◇鹿児島県	2月13日（水）	15:00～16:30
◇福岡県	12月25日（火）	15:00～16:00

3. 2 地域協議会の開催

地域の三次被ばく医療地域協議会は、西日本ブロック（対象：16府県）を3つの地区（下記参照）に分け、地区毎に1回（計3回）開催した。

初期被ばく医療機関、二次被ばく医療機関及び関係府県の関係者等と西日本ブロックにおける三次被ばく医療機関からの緊急被ばく医療派遣体制の実効性向上に向け協議を行った。

近畿・北陸地区：	石川県、福井県、京都府、大阪府、富山県、岐阜県、滋賀県
中国・四国地区：	岡山県、鳥取県、島根県、愛媛県、山口県
九州地区	： 佐賀県、長崎県、鹿児島県、福岡県

(1) 開催日時・場所

○地域の三次被ばく医療地域協議会（九州地区）

日 時：平成25年3月4日（月） 13：00～15：00

場 所：ホテルニュー長崎 珊瑚の間（地下1階）

○地域の三次被ばく医療地域協議会（近畿・北陸地区）

日 時：平成25年3月5日（火） 13：00～15：15

場 所：ユアーズホテル・フクイ 桜の間（2階）

○地域の三次被ばく医療地域協議会（中国・四国地区）

日 時：平成25年3月26日（木） 13：30～15：30

場 所：広島大学病院 大会議室（医科外来棟3階）

(2) 協議事項（各協議会とも共通）

1) アンケート調査の結果について

①自治体

②被ばく医療機関

2) 各府県の被ばく医療体制の現状について

3) 三次被ばく医療機関からの緊急被ばく医療派遣体制について

4) 広島大学への要望について